



憧れのパトカーに乗ってみたよ

地域を守る防犯拠点に集う

水沢南駐在所開設 20 周年記念事業

水沢南駐在所開設 20 周年記念事業「2012 安心安全ふれあいの集い」が 6 月 17 日、水沢南地区センターを会場に、水沢南自治振興会の主催で開催されました。

防災や防犯、交通安全に関する体験コーナーには、パトカーや白バイ、消防車などが勢ぞろい。搭乗体験の子どもたちでにぎわいました。来場者らは、防犯グッズの展示を見てアイデアに関心しきり。県警察音楽隊ふれあいコンサートが始まると、制服姿の隊員が奏でるきれいな音色に聴き入っていました。

大人も子どもも遊びに夢中 全国一斉「あそびの日」キャンペーン 2012

全国一斉「あそびの日」キャンペーンが 6 月 10 日、胆沢第一小学校体育館を会場に行われました。

この日は、主催する市レクリエーション協会の会員と学生インストラクターが、同校の 2 年生児童と父兄ら約 200 人を指導。グループに分かれてゴム跳びやボールを使ったゲームなどで交流すると、会場のあちこちからにぎやかな笑い声が響いてきました。2 年生の小野寺颯太さんは「ゴムダンスがとても難しかった」と大粒の汗を流しながら話していました。



ゴムダンス・ステッピょんを体験する子どもたち

県内外のはつとが勢ぞろい 第 1 回奥州はつとフェスタ



とてもおいしい「はつと」だよ

奥州はつとフェスタが 6 月 10 日、メイプル西側に設置した特設会場を盛大に開催されました。

奥州商工会議所(千葉龍二郎会頭)が主催するこの祭りは、ことし初めて開催されたもので、奥州はつとのほか県内外のはつとを味わえるイベントです。遠野市や二戸市、宮城県登米市などから出店があり、工夫を凝らしたはつとを提供。売れ行きは好調で、早々に完売となる店もありました。3 杯食べると参加できる抽選会では、来場者が豪華景品目当てに一喜一憂。特設ステージでは、市国際交流協会が華やかなフラダンスを披露し、会場を盛り上げました。第 52 回水沢商人まつりも同時開催され、多くの人出でにぎわいました。

郷土の歴史を歩いて学ぼう

城までハイキング

岩谷堂城跡を目的地とした「城までハイキング」が 6 月 30 日、えさし郷土文化館の主催で行われました。

同館を出発した 30 人の参加者は、坂道を上り、向山展望台と旧後藤家住宅を巡って岩谷堂城跡に到着。自然の地形を生かした山城の特徴である空堀や土塁について、同館研究員の解説を熱心に聞いていました。江刺区栄町の佐賀重雄さん(85)は「歴史を学びながら地元で 5 キロ歩けると聞いて参加しました。資料も魅力の 1 つ」と満足げに語りました。



会話を楽しみながら歩く参加者たち



熱心に質問をする参加者

世界遺産追加登録を願って

長者ヶ原廃寺跡への理解を深める講座

市世界遺産登録推進室による長者ヶ原廃寺跡普及啓発事業「にど来て楽しい長者ヶ原廃寺跡」の第 1 講が 6 月 9 日、同遺跡の史跡案内所で行われ、市内や一関市から約 20 人が参加しました。

「平泉の世界文化遺産」関連遺跡への理解を深め、世界遺産への追加登録の機運を高めようと開催された同講座。同遺跡の建立意義や歴史的背景を、専門員が周辺史跡についての考察を交えて説明すると、市参加者らは、次々に質問をしていました。

全日本チャンピオンが指導

ジュニアソフトテニス・フェスティバル

NPO 法人前沢いきいきスポーツクラブ(野村金次郎会長)主催による「ジュニアソフトテニス・フェスティバル」が 6 月 30 日、晴天のもと、前沢いきいきスポーツランドで開催されました。

ソフトテニス指導者の皆呂充亮さんと全日本チャンピオンの小林幸司選手による指導に、沿岸被災地を含む市内外の小中学生 270 人が参加。スポーツ少年団の仲間と参加した及川安佑さん(古城小 6 年)は「教えられたことを試合に生かしたい」と語りました。



小林選手の手本を真剣に見入る小中学生たち



どろの感触に歓声をあげる参加者たち

里山の自然環境保全を学ぶ

内田ため池「田んぼの学校」

田んぼの学校が 6 月 2 日、若柳西風地内の内田ため池を会場に開催され、地元関係者や岩手大学の学生、胆沢愛宕小学校の児童ら約 100 人が参加しました。

この取り組みは、メダカなどの希少生物が生息する内田ため池の生態系と周辺環境を保全するため、農作業体験や学習活動を行っているもの。この日は、昔ながらの手植えで田植えを行いました。大学生が内田ため池の生態系をテーマに寸劇を披露すると、子どもたちは自然環境保全の大切さを感じていました。